

だっしゅ!

2014年8月4日発行 第5号
自治労北海道日高地方本部青年部
発行責任者 橋本 亮介（平取町職労）

第14回岩見沢地方協青年女性交流集会

2014年6月7日～8日の二日間にかけて、夕張市の「合宿の宿ひまわり」にて、第14回 岩見沢地方協青年女性交流集会が開催され、空知・胆振・日高の3地本22単組 計100人の仲間が終結しました。

○基調講演「組合活動の必要性、給与制度の総合的見直しについて」

講師 道本部青年部長 瀧口 和成さん

・集会に参加する意義とは⇒「何を感じ、何を学ぶか」、「参加して終わりではなく、それを地本や単組に持ち帰ることが大事」
・「労働運動の必要性」・・・福島町では交渉の結果、1分単位で時間外手当が出るようになったり、江別市では隔年ではあるが職員の血液検査が行われるようになった。
⇒「行動次第で自分たちの環境をより良いものに出来る！」



・青年運動の最大の獲得目標は「組織強化」⇒「一人の100歩よりも100人の一歩」

○全体交流会

全体交流では、それぞれの単組から一村一品紹介ということで、まちの特産品をPRしていただきました。

そこでレクリエーションとして各分散会ごとでグループになって、一村一品をかけた「リアル脱出ゲーム」が行われました。単組ごとではなく、分散会のグループにすることでほかの市町村の方々との交流も図ることが出来たのではないかと思います。



○分散会・分散会報告

今回の職種別分散会では、給与制度の総合的見直しについてどう感じているかをメインに、職場で不満に思っていること、人事評価制度についてどう思うかなどが話し合われました。



分散会報告では「給与制度見直しについて初めて知った」といった声や、「仕事のバランスが悪い」、「責任の所在が不明確」、「持帰り残業は当たり前」などといった職場状況も明らかになりました。



○特別報告「オキナワ平和の旅」

新冠町職 吉田 綱平さん

第21回被戦地オキナワ青年の旅参加報告ということで、実際に現地に行ってみないと知る事の出来ない当時の防空壕の惨状や、旗を貼ったり、座り込みをして基地建設に反対する人がいる一方で、まるで他人事のように振舞う人もいるなど、現地の人たちの様々なんだと感じました。また、住民たちの反対の声を蔑ろにして国益を優先する政府の対応に憤りを感じました。



～編集後記～

地方協が終わって2ヶ月も経っての発行…遅くなってしまい大変申し訳ありません。m(_ _)m

今回初の地方協参加、運営ということであたふたしておりましたが、集会が無事成功で終わることが出来てよかったです。本当にありがとうございました。